



第七十七号 平成二十八年五月十五日 (金) 発行

平成二十七年総会開催される

一筆啓上・作左の会総会が、
去る四月十六日 (土) 春爛漫 講演会の開催 (詳細は後述)、
の晴天の中、学区市民ホーム ②六月十一日 (土) 丸岡城と
に七十名の出席者を迎えて 二筆啓上・日本一短い手紙
盛大に開催されました。 の館」を訪ねる研修旅行、③
ふるさと六ツ美を詠む俳

平成二十七年年度の事業報
告、決算報告に続き、新年度
から副会長を二名とする会
則の改正が了承され、それに
基づく役員改選では、会長に
兵藤紀之氏、副会長に中之郷
団地総代柴田高利氏と法性
寺二区総代廣重敦氏、会計に
宮地町中総代小林悟氏、とい
う新体制が承認されました。

山周平様、愛知県議会議員新
来賓として、衆議院議員青

海正春様、岡崎市議会議員柵
木誠様始め多数の方にご臨
席賜り祝辞を頂きました。



あいさつする兵藤会長

引き続きの講演会では、
講師におかざき塾歴史教室
主宰の市橋章男氏をお招き
し、岡崎城跡を見直す歴史
散歩」の演題で、作左衛門、
家康公にまつわるお話を頂
き、中でも犬頭神社の石鳥居
は、越前丸岡藩初代藩主とな
った本多成重が父作左衛門
を称えるため越前産笏谷石

ひやくだにいし)を運んで
造らせたものであること。生
後間もない家康が育てられ
た岡崎城伊賀川沿いの坂谷
には、大奥の原型とも言われ
る「おなご衆」の間があった
こと。など、皆さん熱心に聴
き入っていました。



講演会の風景

その後本田保夫理事の乾
杯で懇親に入り、なごやかで
にぎやかな時間を過ごし、最
後は本田榮理事の締めで万
歳三唱をし閉会しました。